

日本聖徒アンデレ同胞会 (BSA)

会長 足立征三郎

担当理事 永井信行

† 主の平和

1883年聖徒アンデレ同胞会は聖アンデレの日に米国イリノイ州シカゴ市のセント・ジェームス教会で聖公会の福音伝道グループとして誕生しました。

1894年に伝道教師として派遣されたC・H・エバンス氏により、奈良の教会で同胞会の活動が始まり、その活動が全国に広がっていきました。

1902年(明治35年)全国に25支部、会員数300名を数えた聖徒アンデレ同胞会は、同年4月12・13日の両日に互り、京都で全国総会を開き同胞会憲章を議定し、本部役員を選定した時点以降、日本聖公会のどの文書にも同胞会の記録を見出すことが出来なくなってしまいました。

1902年以来、BSA活動空白の25年間の後、ポール・ラッシュ師が中心となり1927年(昭和2年)立教大学に米国聖アンデレ同胞会の日本支部を結成されました。2027年は、それから数えて100年の記念の年となります。

ここ数年100周年を意識して「事業活動計画」に「希望のBSAを目指して」「響きあうBSAのために」「BSA見える化」を掲げてまいりました。コロナ禍の中にあって思うような活動に至っておりませんが、機関紙VISIONは休むことなく発行され、皆様からも「内容が充実して来ています」と嬉しい感想を頂いております。また、管区だより・各教区時報の担当者の協力を得て「BSA通信」を掲載出来 BSAの活動をタイムリーにお知らせすることが出来ております。

1988年、文書伝道活動プログラムの一環としてBSA信徒叢書「聖公会という名の教会」が創刊され、以来2007年までに18冊が発行されています。今日、途絶えていた「BSA信徒叢書」が3冊発行出来ました。「聖書の心と茶の心：高橋宏幸主教著」、「ウィリアムズ主教に学ぶ：松平信久元立教学院院長著」、「神の教会・わたしたちの教会：加藤博道主教著」です。同時に新刊3冊を発行出来ましたこと、私たちBSA会員一同大変な喜びです。この活動(信徒叢書発行)にご支援くださった皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

VISION 176号は、信徒叢書発行を記念し特集になっています。冊子の推薦、祝いの言葉等々、多くの方々からお言葉を頂いております。

既刊の18巻と併せ、いろいろな形(個々あるいは皆さまで読書会、贈物など)で活用していただけると嬉しく思います。

皆様のご健勝とご発展をお祈りいたします。 よろしく願いいたします。

主に感謝